

別紙 1(表)

(1) 医師の診断を受け、主治医による証明が必要な感染症

第一種感染症			
病名			登園停止期間
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、ジフテリア、急性灰白髄炎、ラッサ熱、マールブルグ病、重症急性呼吸器症候群、指定感染症、新感染症、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症			治癒するまで
第二種感染症			
病名	主要症状	感染期間	登園停止期間 及び登園のめやす
麻疹 (はしか)	発熱・咳・鼻水・目やに頬の内側に白い斑点(コプリック斑)	発症1～2日前から発しん出現後の4日間	解熱後3日を経過するまで
インフルエンザ	発熱・頭痛・関節痛・全身倦怠感・その他風邪症状	症状が有る期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(幼児にあっては、3日を経過するまで)
風しん (三日はしか)	発疹・発熱・後頸部リンパ節腫脹、結膜の充血	発しん出現の前7日から後7日間	発しんが消失するまで
水痘 (水ぼうそう)	水泡のある発疹が体幹から全身に出現。頭髪部から口腔内にも出現	発しん出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化するまで
流行性耳下腺炎 (おたふく風邪)	発熱・耳の下が腫れる、食欲不振・嚥下(飲み込む事)困難	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核	初期:自覚症状なし。X線で発見されることが多い 疲労感・寝汗・微熱・体重減少・肩こり・咳	喀痰の塗抹検査が陽性の期間	医師により感染の恐れがないと認められるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	発熱、喉の痛み、結膜炎、首のリンパ節の腫れ、食欲不振	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
百日咳	はじめは軽い咳～のどの発赤発病後、1週間くらいから咳が続く	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
髄膜炎菌性髄膜炎			医師により感染の恐れがないと認めるまで
第三種感染症			
流行性角結膜炎	結膜充血・まぶたが腫れる・流涙	充血、目やに等症状が出現した数日間～2週間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
急性出血性結膜炎	結膜充血・眼痛・異物感	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師によって伝染の恐れがないと認められるまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O-157)	水様下痢、腹痛、血便、血尿、尿蛋白、発熱、意識障害、脳症	便中に菌が排出されている期間	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの

別紙 1(裏)

第三種感染症(その他)			
病名	主要症状	感染期間	登園のめやす
溶連菌感染症	発熱・発疹・いちご状舌・のどの炎症・リンパ腺の腫れ	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ感染症	咳・発熱・頭痛等、風邪の症状。特に咳は激しく、1ヶ月程度持続する	症状発症から4～6週間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手のひら、足の裏、口の中に、米粒のような発疹。口の中では、舌・唇の内側・頬の内側などにでき、食欲低下する	手足や口腔内に水疱・潰瘍かいようが発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(りんご病)	頬、腕、下肢にレース様の発疹	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
感染性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノ)	水様下痢、嘔吐、発熱、気道症状	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	突然の高熱、咽頭痛、口腔内に特徴的な発疹	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
急性細気管支炎(RSウイルス感染症)	発熱、鼻汁、喘鳴、呼吸困難。乳児期早期では細気管支炎・肺炎による入院の場合がある	通常3～8日(乳児は3～4週間)又は呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	小水疱が現れ神経痛、刺激感を訴える。痒みを訴える場合がある	すべての発疹がかさぶたになるまで	すべての発しんが痂皮化してから
単純ヘルペス感染症	歯肉口内炎、口周囲の水疱	水疱を形成している間	発熱がなく、よだれが止まり、普段の食事がとれる
伝染性膿痂疹(とびひ)	湿疹や虫さされ痕部に細菌感染を起こし、びらんや水疱病変を形成。掻痒感を伴う	効果的治療開始後24時間	皮疹が乾燥するか、患部が被覆できる程度になること
水いぼ(伝染性軟疣腫)	直径1～3mmの半球状丘疹。四肢、体幹等に数個～数十個むらがって見られる	効果的治療開始後、24時間	掻きこわし傷から液が出ない状況
アタマジラミ	無症状又は、掻痒感(かゆみ)	産卵から最初の若虫が孵化する10～14日間	駆除を開始していること
ウイルス性肝炎	急激な発熱、全身倦怠感、食欲不振、悪心、嘔吐、黄疸	発症1～2週間前	肝機能が正常であること
突発性発しん	38℃以上の高熱が3～4間続いた後、体幹部中心に鮮紅色の発疹が出現	発熱中は感染	解熱後1日以上経過し、全身状態が良いこと